

風水害について



梅雨の時期に入る前に
危険な場所、事前の備えについて
学んでいこう

特に注意が必要な気象状況

集中豪雨

同じような場所で数時間にわたり強く降り、100mmから数百mm程の雨量をもたらすことです。土砂災害等の発生危険ももたらします。



線状降水帯

発達した積乱雲が列をなし、ほぼ同じ場所を通過あるいは停滞することで大雨をもたらすことです。

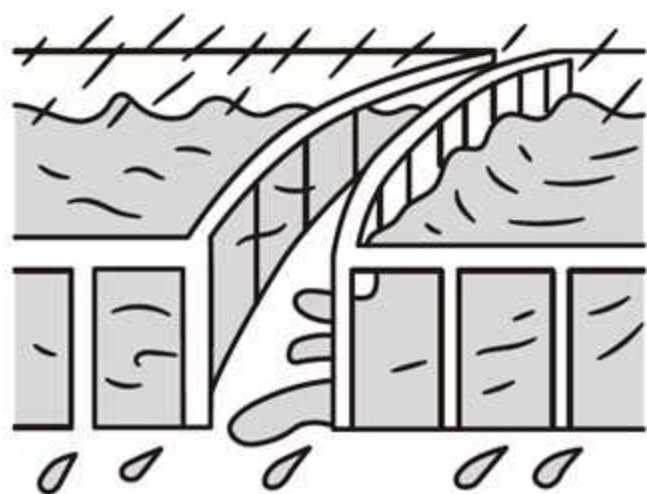


近づいてはいけな場所

短時間で被害が発生し、命の危険に繋がります。



地下・半地下



河川・用水路



アンダーパス

事前に備えましょう！！

防災リュック

事前に準備することで、緊急事態に忘れ物なく、効果的な用具を持つていくことができる。



市区町村ごとに作成され、災害種別ごとに被害が予想されるエリア、避難場所を確認できる。



ハザードマップの活用

起こり得る災害を確認

浸水や土砂災害の恐れのある箇所の把握に加え、自宅からの避難場所とそこまでの経路を合わせて確認することができる。

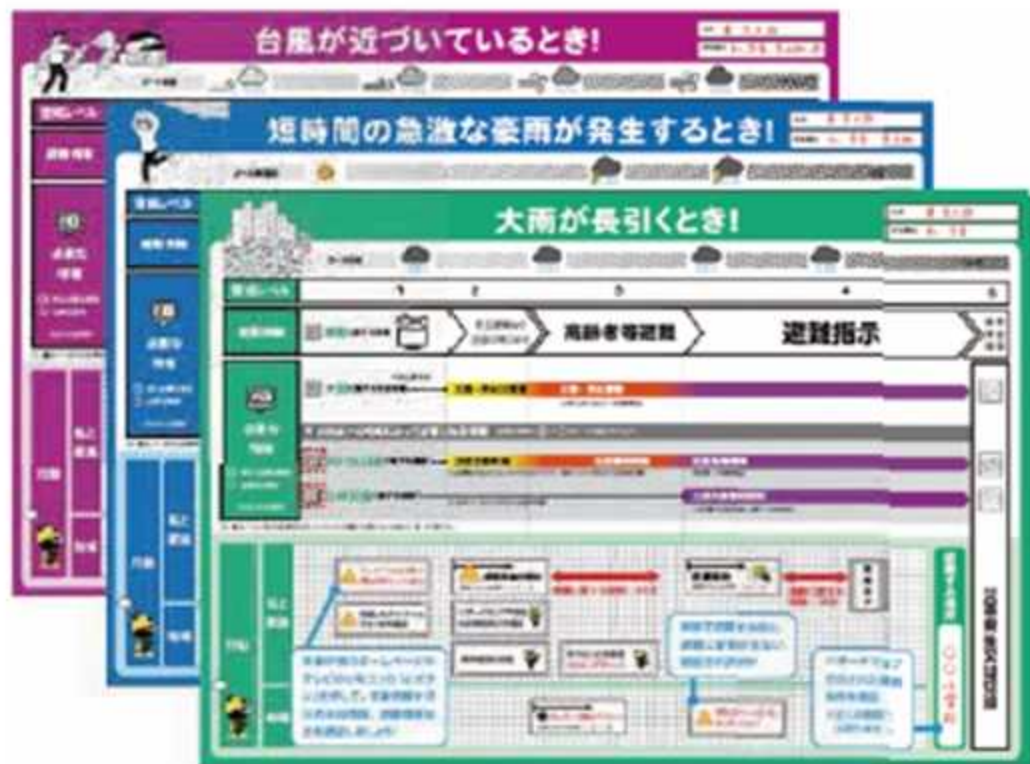


マイ・タイムラインを活用しよう

風水害に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めたもの

マイ・タイムラインの作り方

- ① 避難場所を記入する
- ② 避難情報や気象情報から**避難のタイミング**を考える
- ③ 避難準備の開始・避難開始・避難完了を記入する
- ④ **避難開始までの行動**を考えて記入する
- ⑤ **地域に対しての行動**を考える



「東京都防災ホームページ」からダウンロードできます。

風水害に関する情報はこちらで収集！



東京防災
「台風・豪雨災害への備え」



東京消防庁ホームページ
風水害に対する備え



東京都洪水ハザードマップ

スキャンしてみよう！！

